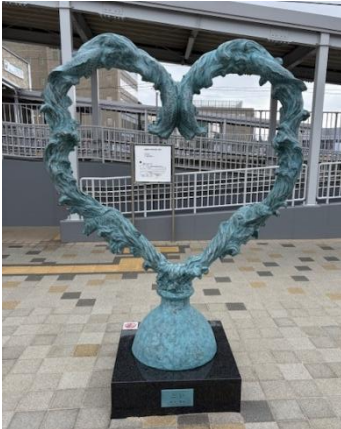




鯉・恋・来い

校長 尾崎 淳一



三河知立駅のロータリーに、ブロンズ製の素敵なモニュメントが設置されました。竜北生の皆さんも、目にしたことがあるでしょう。ところで、このモニュメントの作品名は何でしょうか。ひらがなで2文字、作品をじっと見つめることで、頭に浮かんでくることでしょうか。そうです、正解は『こい』です。

市のHPに説明が掲載されているので、要約して紹介します。

込めた想いは三つの「こい」です。①鯉：生物や自然と共存するSDGs 未来都市のシンボルとして、「8匹の鯉」と「あふれる水」で表しました。②恋：市民が親しく、笑顔の絶えない日々を送ることを願い、あふれる水流でハートを描きました。③来い：駅を利用する人が撮影することを想定し、ゆくゆくは「親友同士」「恋人同士」が、遠方から訪れることを願っています。

せっかくの身近なモニュメントなので、竜北生の皆さんも家族や友達と一緒に、「記念写真」を撮影してみたいはいかがでしょうか。私も、出張の帰りに一人ぼっちで「ハート」を覗いてみたいと思います。ちなみに、「鯉」は食材にも用いられ、刺身、塩焼き、煮つけなど、様々な調理法で味わえるようです。本校某職員の故郷でも、盛んに食されているようで、「めちゃめちゃ美味しいです」とのことですが……。私は未経験なので、信じるべきかどうか。やはり、「鯉」より「鯛」、「鯉」より「恋」が私の好みですね！

13日（金）には、竜北2年生が「名古屋分散学習」を実施しました。今回の分散学習で問題が発生すれば、当然、修学旅行での東京分散学習を見直さなければなりません。だから、私は2年生の学年集会で話をしました。「約束が守れなかった人に限り、修学旅行は分散学習ではなく、【校長と手を繋いで散歩ツアー】に変更となります」と。その効果は抜群で、全てのグループが自覚をもって行動し、多くのことを学ぶことができたと言っています。さすが竜北2年生、誇りに思いますよ。それとも。私の企画したツアーに参加するのが、それ程までに嫌だったということでしょうか……。

大須観音では、貴重なお小遣いで鳩に餌をやった心優しい竜北生がいるのですね。それにしても、夥（おびただ）しい数の鳩です。「鳩よ、来い！」と言わなくても積極的に餌を取りに来ており、鳥も猫も犬も熊も人も苦手な私としては、「怖すぎる」の一言です。こんな苦境に立たされても、無事に帰ってきてくれたのですから、東京でもきっと大丈夫でしょう。



数えてみれば、修学旅行は2か月後に迫っています。学校待機が役割だった「名古屋分散学習」と同様に、私が連れて行ってもらえるかは不明ですので、まずは竜北2年生の皆さんが東京・横浜を満喫できることを願っています。

今年度の登校日も、あと一週間です。やり残したことはありませんか。進級に向けて目標をもっていますか。素敵な新2年生、新3年生を目指して、『竜北生、Go!!』

全国の公立学校における教員不足数は、令和7年5月1日時点で3,827人と報道されました。定年延長の制度もありますが、この数年で健康面や体力面で明らかな衰えを実感する私は、60歳を過ぎて現場で働く自信はないです。しかし、竜北中には若くて熱心な教員が多くいます。時に指導すべきこともあります。日々の働きを頼もしく、誇らしく思っています。保護者の皆様には、来年度も竜北中への温かいご支援をお願いします。

（令和8年3月18日）